

## 第7回法定協

# 市民施策の拡充は 大阪市存続でこそ

## 山中大阪市議が意見表明

大阪府を廃止して「特別区」に分割する、いわゆる「大阪都」構想の制度設計を議論する大都市制度(特別区設置)協議会(法定協議会)の第7回会合が1月30日、大阪府役所内で開かれました。副首都推進局が示している「特別区」素案について、各会派の委員が意見を表明し、委員間で協議。終了後の代表者会議では、次回2月22日の第8回会合で4種の区割り案を一つに絞り込むための議論を行うことを決めました。



山中智子市議



各会派が「特別区」素案について意見表明した法定協議会第7回会合＝1月30日、大阪市議会特別委員会室

## 「特別区は百害あって一利なし」

### 時代遅れの最悪の制度いじりだ

日本共産党の山中智子大阪市議は、「都」構想は130年もの歴史を持つ政令市・大阪府を廃止し、府はこれまでの広域行政に加えて、旧大阪府域では市町村の責任である消防などを担う「大阪府」をつくるものだと指摘しました。

一方で、大阪府を廃止して4または6に分割して設置する「特別区」は、権限も財源も一般の市町村に及ばない「半人前」の自治体で、「地方分権の流れに逆行する時代遅れ、時代錯誤の最悪の制度いじりだ」と厳しく批判しました。

しました。松井一郎知事や吉村洋文大阪市長が進めるカジノ誘致では大阪の経済は良くなるが、府民の反対世論にも背くと述べました。

### 設置には膨大な費用と負担増が

こうした「統治機構改革」は大阪の成長と因果関係はなく、「政策の中身が問題だ」と山中氏。インバウンド(訪日外国

山中氏は「特別区」の設置には、インシャルコ

スト(初期経費)やランニングコスト(運用経費)など膨大な費用が必要になる上、立ち上げに3〜7年もかかるなど、「職員の労力、市民の負担とい、壮大な浪費だ」と強調。6区案は財政試算でも赤字続きで、財政調整基金も使い果たして住民施策に大なたを振るわざ

区案と比べてもなお悪いもの。大阪市分割はまったく不合理だ」と述べました。さらに巨大開発などを行わなければ、市の財政試算でも2021年度から10年間でみて586億円の赤字となることを示し、「大阪府存続の方が、市民のための施策拡充が図ることができる」と力説。大阪府廃止と「特別区」への分割は「百害あって一利なし」と主張しました。

### 再び市民分断し 時間とコストが

自民党(花谷充樹府議)は今回の素案は、住民投票で否決された案と本質的に変わらず、「再び市民を分断して時間とコストをかけ、住民投票をする意味はない。不毛な議論はやめるべき」と批判。公明党(八重樫善幸府議)は「敬老パスなどの施策が特別区で維持できるのか、法的拘束力がない」などと問題点を上げました。

### 記者メモ

○…大阪維新の会(代表・松井一郎知事)が、大阪府を廃止・解体して「特別区」を設置する、いわゆる「大阪都」構想の住民投票を今秋にも実施することを狙って、1月27日から

## 大阪市民を何度騙すのか

「街頭タウンミーティング」を始めました。大阪府中央区・難波の高島屋前で演説した松井知事は、こんなことを繰り返します。「これから(反対派の)デ

マがいっぱい飛び交います」「大阪(ママ)は消滅しませぬ」「デマに騙されないように」

選挙に勝てば大阪府をつぶす「都」構想へ暴走。自ら「ラストチャンス(橋下徹前代表)」と叫んだ2015年の住民投票で否決されたにもか

選では「都構想をバージョンアップさせてほしい」などと主張しました。○…そのダブル選の開票会見で吉村洋文大阪市長は、「都構想の(よりよい)修正案を出すつもりなのか。(す

は、「だまされないで下さい!!」と書いたヒラを大量に配布し、「大阪府は潰しませぬ24区、24色の鮮やかな大阪市に変えます」と宣伝していました。

今回の6区案は赤字続き、4区案は政令市並みの人口規模で「身近な行政」に程遠いなど、否決さ

れた5区案よりもひどいもの。大阪府の廃止の本質は変わりません。「選挙の公約をやるのが政治家の仕事(吉村氏)とは、大阪市民を何度騙すつもりなのか。(す